



はくび通信

Year 2018年
Season 新春号
No. 26

ゆく年くる年



◆ご挨拶

平成29年は、4月に新諸堂「白龍館」が完成し、万松寺の新たな幕開けの年となりました。古代の人々は竜巻を龍に見立て、「活性」する神として崇めてきました。当寺も旧きを壊し、新たな恵みをもたらす為にと、新諸堂の守り神を白龍とし「白龍館」と命名しました。

白龍館には、全長約8mの大きな白龍のモニュメントを作り、お越しただく皆様に楽しんで頂ける様な仕掛けをつくりました。すでにご覧頂いた方もいらっしやると思いますが、1日6回、定刻になると白龍館正面に取り付けられた大型LEDビジョンに写し出される映像と白龍のモニュメントが連動し、音・光・水の演出で上演されます。平成30年も、お越しいただいた方々が元気になり、笑顔になれる寺院として活動してまいります。



◆平成30年の干支暦「戊戌」

本年の干支暦は戊戌（つちのえいぬ）に当たります。戌（つちのえ）は陰陽五行説の十干のひとつで、干支はこの十干と十二支を組み合わせたものを指します。戌は「土性の陽」の性格が割り当てられておりますが、今年の十二支の戌（いぬ）も、同様の「土性の陽」の性格を表します。土はどっしり構え、動かない性格を持ちますので、大きな変化や目に見える結果が出難い年となるでしょう。

しかし、平成30年は力を蓄える重要な年となります。種を蒔き、芽が出るまでには、その種に合った環境や材料が必要となります。平成30年は良質な材料を準備し、土壌を育み、芽を出す為に良い条件を準備する年と考えてください。そこで作った基盤は、その後の発展に大きく影響されます。準備がしっかり成されていれば良い発展をしますし、そうでないと良い発展には繋がりません。また、災害面において危惧することは、土同士の異なる性質により、地震が多発する恐れがあることです。災害の準備はいざという時に、必ず助けとなります。年末年始の家族が集まる機会に、防災について話し合い



をし、防災グッズの準備や避難場所の確認を行いましょ。平成30年は焦って事を起こし始めるよりも、しっかりと計画を練り、結果を出すための「準備の年」と言えます。また、財だけではなく、知恵や体力、人間関係も育み、蓄えることで大きな力となります。結果が出難い年となりますが、諦めずにじっくりと踏ん張って力を蓄えることで、皆様の今後の発展につながる一年となることでしょう。

萬松寺 四十二世住職

大藤 元裕



◀新諸堂「白龍館」

万松寺の仏様

白雪稲荷

はくせついなり



万松寺におまつりされている白雪吒尼真天（はくせつだきにんてん）は、皆様に白雪稲荷（はくせついなり）と呼ばれて親しまれているお稲荷様です。

白雪稲荷の起源は古く、今より千年もの前に雪の様に白い狐がお稲荷様となり、この地（現在の「大須」）におまつりされたといわれています。

慶長15年（1610年）名古屋城の築城と城下町の構築を行うために万松寺が現在の「大須」の地に移された際、移転先の小林城内におまつりされていた白雪稲荷を譲り受け、万松寺の鎮守神としました。

また、万松寺では次の様な伝説も伝えられています。かつて万松寺が衰退して、財政が逼迫し、住職は支払いもできず非常に困っていました。この窮状を見かねた白雪稲荷が御小女郎（おこじょうろう）に化け、どこからかお金を用立てして住職に与え、そのお金で万松寺は無事窮状を切り抜けることができました。

後日、江戸吉原の経営者が遠路はるばる万松寺を訪ねて来ました。経営者は「新しく雇った従業員がしばらく働いた後に姿を消しました。後日、その従業員が枕元に立ち、我は万松寺の稲荷だった」と告げられました。しかもその頃から急に営業が好転したので、これも万松寺の稲荷様のおかげとお礼に参りました。」と話しました。

この話を聞いた住職は「さてはあのお金は白雪稲荷が稼いだものであったか」と納得し、白雪稲荷に深く感謝しました。



後にこの話が世に広まり、商売繁盛、金運招福の祈願を目的とした多くの人々が万松寺を訪れる様になりました。また、水商売関係者のお参りも多くなったといわれています。

この伝説から白雪稲荷は、別名御小女郎稲荷（おこじょうろういなり）とも称されています。

白雪稲荷の御利益
金運招福 商売繁盛 恋愛成就 学業成就 開運成就 心願成就

僧侶が教える

除夜の鐘

仏教の豆知識

大晦日の深夜に聞こえる除夜の鐘。

この鐘の音を聞くことで「年が明けた」と感じる人は多いと思います。

また、初詣でお寺に参拝した際にご自身でお寺の鐘をついた経験がある人も多いと思います。それほど日本人にとって「大晦日」と「除夜の鐘」は深い関係にあります。

なぜ日本では大晦日に除夜の鐘を撞く様になったのでしょうか？

除夜の鐘の「除」という言葉には「古いものを捨てて新しいものを迎える」という意味があります。すなわち「除夜の鐘」は大晦日の夜に鐘を撞いて1年間の煩惱や穢（けが）れを払い、清らかな心で新年を迎えるための鐘として、全国の寺院に広まったと言われています。

また、除夜の鐘を撞く回数には108回と決まっています。108回という数の由来には諸説ありますが、仏教では人間の煩惱の数を表しているという説が一番有力とされています。

煩惱は、6つの感覚器官（六根（ろっこん））から成り立っています。六根とは、「①眼（げん：視覚）、②耳（に：聴覚）、③鼻（び：嗅覚）、④舌（ぜつ：味覚）、⑤身（しん：触覚）、⑥意（い：意識、第六感）」の感覚器官を指します。六根のそれぞれには、①好（こう：気持ちが良い）、②悪（あく：気持ちが悪い）、③平（へい：どちらでもない）、④浄（じょう：きれい）、⑤染（せん：きたない）の状態があります。この18種それぞれに①浄（じょう：きれい）、②染（せん：きたない）の状態があつて18×2＝36種の状態が①前世、②今世、③来世のそれぞれに存在し、36×3＝108種が煩惱の数となります。



108つの煩惱

※諸説あるうちのひとつ

人間が持つ感覚器官（六根）

6

- げん 眼 視覚
- に 耳 聴覚
- び 鼻 嗅覚
- ぜつ 舌 味覚
- しん 身 触覚
- い 意 意識、第六感

状態や感じ

3

- こう 好 気持ちが良い
- あく 悪 気持ちが悪い
- へい 平 どちらでもない

状態や感じ

2

- じょう 浄 きれい
- せん 染 きたない

時間軸（三世）

3

- 前世
- 今世
- 来世

108

万松寺歴史秘話

万松寺の身代わり餅

永禄13年（1570年）、天下布武を目指す織田信長は、越前（福井県）の朝倉家の領地へ攻め入りましたが、同盟関係にあった浅井長政の裏切りに合い、撤退を余儀なくされました。撤退の途中、信長が近江国（滋賀県）に差し掛かった時、潜んでいた鉄砲の名手、杉谷善住坊（すぎたにぜんじゅぼう）に至近距離から狙撃されました。しかしながら鉄砲の弾は信長の懐中（かいちゅう）に入れていた干し餅に当たり、信長自身はかすり傷で済みました。

信長が亡くなった後、万松寺を宿舎としていた加藤清正がこの話を聞き、万松寺の不動明王を「身代不動明王」、干し餅を「身代わり餅」と命名しました。

万松寺では、毎月28日（不動明王の縁日）の18時から境内で身代わり餅をつき、きな粉をまぶして皆様に無料でお配りしています。

また白龍館前の万松寺茶屋では、もち米の程よいつぶつぶ食感が好評の万松寺名物「信長身代わり餅」を常時販売しています。

厄除けのご利益のある「身代わり餅」をぜひご賞味ください。



この干し餅は万松寺の和尚から貰い受けていたもので、信長は日頃信仰していた万松寺の不動明王の加護のおかげと深く感謝しました。

万松寺茶屋

営業時間
平日 11時～18時
土日祝 11時～19時

万松寺名物
信長 身代わり餅

万松寺では、大晦日の23時から「除夜法会」（じよやほうえ）を開催し、ご参拝いただいた方に万松寺の鐘をおつきいただきます。

除夜法会

白龍ホールで年越しそばなどを召し上がりいただき、本堂屋上の鐘楼堂（しじょうろうどう）にて鐘をおつきいただきます。

日時 12月31日（日）23時～

受付 万松寺本堂 1階

料金 おせち料理無 五千元
おせち料理有 一万元

お申込み・お問合せ 052-262-0735



第35回 高級オーディオ試聴会

AUDIO FESTA 2018

in NAGOYA

入場無料

2018.2.16(金) 17(土) 18(日)

会場 名古屋国際会議場 2号館 (1F～3F)

主催：オーディオフェスタ・イン・ナゴヤ実行委員会、株式会社 エフエム愛知 ●後援：一般社団法人 日本オーディオ協会 ●協賛：東海地区有力オーディオ店、オタヨーテ、コスモパリスNAPRIX店、サウンドハンター、サウンドピット、ノムラ無線、四日市ムセン ●協力：パナソニック、音源出版

国税OBが、相続税対策を提案!

プロ中のプロ達が、あなたのお悩みを解消します!

名古屋相続税相談所

TEL 052-759-5130

FAX 052-759-5131

名古屋千種区池下1丁目4-15川辺318ビル6A

運営会社 株式会社 PLUS-A 受付 税理士法人フォルス

弊社では多くの方に「手元供養」のご利用をいただいております。

※まごころこめてお作りします! 仏像の中にお骨を納め、いつも大切な方をお供に置いていただけます。

1霊分 通常販売価格 75,000円(税込) **はくび通信をご利用の方に限り 1霊分 59,400円**

※受注生産のためご注文受付より約2～3週間ほどお時間をいただきます。

業界初 仏像の中にお骨を納めるタイプ

手元供養とは?

形にとらわれず、故人のことを身近に感じ、形式や宗教的な決まり事よりも、亡くなった方への思いを大切に、自由で新しい供養の形です。

近年手元供養を始める人が増えている理由

住環境や住まう家族構成の変化から広まりつつある手元供養。近年はお墓を持たず、少しのお骨を手元に置き残りを敬供したり等が理由の一つです。

このような方にお勧めです

- 大切な人を速くに葬りたくない。
- お墓が遠方のため、お墓参りが難しい。
- 経済的な理由など何らかの事情でお墓を建立できない。
- 供養を人任せにしたいくない。
- 無宗教なのでお墓や戒名は不要、自分らしい期を迎えたい。
- 残る家族に余計な負担をかけたくない。

まずはお気軽にお問い合わせください ☎0566-71-5050 担当/半田

株式会社 祐進 葬祭事業部 愛知県安城市御幸本町8-19 ●定休日：日曜日 ●営業時間：9:00～16:30

大須商店街

トモコト

ト 商店街と
ト 万松寺

戦国時代の末期、名古屋城の築城および城下町の構築(清洲越し)によって、万松寺を初めとする多くの寺社が大須に移され、これら寺社の門前町として大須の町は発展しました。また大正元年に、万松寺が広大な寺域の大部分を開放した事で大須の町は更なる発展を遂げ、名古屋随一の大繁華街となりました。この様な経緯もあり、大須の商店街と万松寺は長年、切っても切れない強固な絆で繋がっています。

両者の絆が確認できる最たる例は、身代不動明王の縁日(毎月28日)に万松寺境内で行われる「身代わり餅つき」です。身代わり餅は、戦国武将の織田信長公が越前朝倉攻めの帰りに狙撃された際、懐に入っていた万松寺の「干し餅」によって命を救われたという



大須商店街の皆様、これからも末永く宜しくお願いいたします。

話に由来する、身代不動明王様の霊験あらたかな万松寺のお餅です。

その歴史的に由緒のある身代わり餅を昭和四十年代に万松寺と新天地通商店街の相互繁栄を祈願して「身代わり餅つき」として復活させて、開始以来休む事なく毎月行われています。(※台風による悪天候により、中止となった事はあったそうです。)

身代わり餅つきの他にも、12月に行われる「スジャータまつり」のスジャータ姫道中の交通整理や、毎年沢山の方々に賑わう「節分会」の厄除け豆まきなど、万松寺の様々な行事は商店街の方々に縁の下から支えて頂いています。

Pick Up Spot 万松寺

恋愛成就
クリスタルストラップ御守
スワロフスキーを使用したストラップ型の御守。身代不動明王の力を、クリスタルに封印するご祈禱がされています。

金運招福
白雪稲荷カード型御守
カード型の御守。財布や手帳に入れて持ち歩けます。こちらの御守は身代不動尊(厄除け等)もあります。

交通安全
白雪稲荷小判型御守
金運の象徴小判を模った御守。付属の巾着に入れて持ち運ぶこともできます。

厄除け
「信長 身代わり餅」
信長が襲撃された際、万松寺和尚よりもらい受けた「干餅」という餅が身代わりとなり命を救いました。その言い伝えのある縁起の良い餅を再現した和菓子です。参拝記念のお土産に人気です。

合格祈願
交通安全ステッカー
織田家と尾張徳川家の紋をあしらった、ステッカー御守。車だけでなく、自転車やランドセルに貼って身に着けることができます。

交通安全
交通安全御守(中)
身代不動明王のご祈禱がされた、交通安全の御守。吸盤で車のフロントガラスに付けることができます。

合格祈願
学業合格御守
学業合格の祈願をした御守。身に付けて大切な試験に挑みましょう!

御札
仏壇または玄関の内側に御札の表が南か東を向くようにお祀りします。新年に新調される方が多い縁起物のひとつです。

破魔矢
祀る際は頭の高さより高い位置、またその年の凶の方角に矢を向けるとよいとされます。

2018年の凶の方角は「南東」

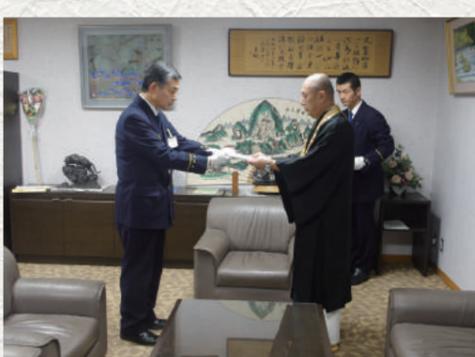
正月限定御朱印
元日から7日間、万松寺の御朱印に「謹賀新年」の金色の印が押されます。初詣のお帰りの際に、祈禱受処にて限定御朱印をお受けください。

今年のご干支は「戌」
2018年の絵馬「戌」
今年のご干支は戌(いぬ)。守護本尊は阿彌陀如来。干支の絵馬に願いごとを書いて奉納しましょう。干支のストラップもごさいます。自分の干支を探してみてください。

十二支ストラップ御守



スジャータまつり



地域防災協力事業者締結式

万松寺日記

12月3日(日)に毎年恒例のスジャータまつりが開催されました。今年も、小学生の女の子が「スジャータ姫」に扮して、祭りを盛り上げてくれました。地域の子どもたちや、商店街を訪れた人等、様々な方々にご参加いただき、お釈迦様のことを身近に感じていただく祭りになりました。

今後も様々な行事を通して、仏教を分かりやすく皆様にお伝えしていきたいと思っております。

11月29日(水)に大須学区と万松寺は、地震・洪水などの大規模災害が起った際に支援をお約束する「地域防災協力協定」を、名古屋市中消防署にて締結いたしました。災害時に、本堂万松寺ビルを避難場所として提供、日頃備蓄している食料等の提供の協力を行います。

この協定締結を始めてとして、万松寺は地域・商店街の皆様のお役に立つため、自治体との連携・支援を積極的に行っています。

新年開運占

手相占いはじめとした、各種占いによる癒し空間を提供いたします。

占い 10分 1,000円~

http://www.takoya.nagoya/ @takoya_osu facebook.com/takoya.osu/

大須観音のすぐ隣、第3アメ横ビル BRAS にてブース出展中!

煮干鰻らーめん 名古屋大須店

味の深みと洗練さを兼ね備えた絶品スープで、こだわりの麺を短時間で茹で上げる最高の一杯を、大須に来たら是非一度お試しあれ!! 他では味わえない「らーめん」です!

お品書き
・煮干しらーめん 780円
・昔ながらのらーめん 780円
・塩らーめん 780円...等

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-31 (営業時間) 昼 11時~15時 / 夜 17時~22時 (スープが熱くなり次第終了) (定休日) 水曜 ◆カウタンク9階 (アクセス) 地下鉄名城線、鶴舞線・上り津島から徒歩3分 上り津島から徒歩4分

相続と遺言の相談窓口

司法書士・行政書士 つむぐ相続法務事務所

■ 相続で揉めない様にいまから準備したい方
■ 介護・認知症になったときのことが心配な方
■ 相続手続でお困りの方

代表司法書士 酒井太輔

ご相談・お問い合わせ [9:00~19:00]

TEL: 052-602-5551

〒467-0806 名古屋市中区瑞穂区瑞穂通8丁目9番1号 新瑞センタービル3階

相続専門 出張相談可 土日相談可

古いもの買います

整理・片付けお手伝いします
捨ててしまう前に相談してみませんか?

古美術 三川屋 MIKAWAYA

買取専用フリーダイヤル 0120-73-1022

古いもの担当の遠隔までご連絡ください

四七〇年の歴史と伝統

織田家・尾張徳川家ゆかりの寺院が管理する

万松寺納骨堂

織田信秀公木像
万松寺蔵



1 由緒ある
寺院による
安心の永代供養

2 天候に関わらず
お参りができる
快適な屋内施設

3 地下鉄「上前津駅」
徒歩3分の
便利な立地

私達が、お護りします。



毎朝夕の勤行と彼岸やお盆など季節ごとに法要を執り行い、永代に亘り大切にお預かりいたします。

万松寺納骨堂

〒460-0011 名古屋市中区大須3丁目 29-12

フリーダイヤル

イコーナ

クヨーニ

0120-157-942

ご見学・ご相談随時承ります

万松寺

検索

ご実家の片付けやお部屋の整理でお困りではありませんか？

- 遺品整理・生前整理などご自宅の整理
- 喪主の代行、入院費の支払い等の死後の事務一括代理
- 家屋の売却・解体・名義変更

その他お部屋の整理に伴うことならなんでも対応！



ご相談・見積もりのご依頼は 遺品・生前整理専門 第八行政書士事務所
0120-018-264 名古屋市中区大須3丁目29-12 TEL 052-653-3215 / FAX 052-653-3216

相続・贈与について、
どこに相談すればいいか
困っていらっしゃるいませんか？



相談無料

保険ライコでは、お客様それぞれの状況をお聞きした上で、税理士・司法書士の方と連携し、最適なお提案を致します。

ご予約はこちら 0120-939-460

名古屋市内5店舗（吹上・黒川・植田・守山・いりなか）

※ご要望により訪問も対応致します